



撮影：賛助会 第1ブロック 平野武信氏

自治体病院とともに50年

理念

公益社団法人全国自治体病院協議会と自治体病院の発展に寄与することを目指します

基本方針

- ①協議会と協議会所属病院が行う事業に対し協力します
- ②会員を対象とする研修会等を実施します
- ③その他本会の目的達成のため必要な事業を行います

会員

病院事業に関わる事業を営む者で本会の主旨を十分に理解した法人です

巻頭

公益社団法人全国自治体病院協議会

×

全国自治体病院協議会・賛助会

賛助会創立50周年記念 座談会

新入会社紹介

●新たに加わった5社の紹介

賛助会活動報告／賛助会会員名簿

賛助会創立50周年記念座談会

50年の絆をより強く 問題解決へ向けて賛助会の力が必要



出席者

全国自治体病院協議会

邊見 公雄 会長
中島 豊爾 副会長
中川 正久 副会長
小熊 豊 副会長
原 義人 副会長
末永 裕之 参与

全国自治体病院協議会・賛助会

伊藤 誠 会長
園部 克彦 副会長
藤本 陽子 副会長
重田 和彦 元会長

■座談会開催について

賛助会

今日はお忙しいところありがとうございます。協議会のおかげで私も昨年50周年を無事迎えることができました。協議会65年、賛助会は50年という長い歴史の中で、協議会の正副会長・参与の方々と賛助会の正副会長と一緒に座談会という形式でお話をする機会はたぶんなかったのかなとも思いながら、50周年を節目に、このような企画をさせていただきました。

協議会 邊見会長

50周年おめでとございました。我々協議会役員・職員をたくさんお招きいただきましてありがとうございました。賛助会の皆さん方には、長い間、物心両面で我々協議会を応援していただき、また会員病院に対しても専門的な分野で

各社がそれぞれご協力いただいて、運営・経営に大変貢献していただいていると思っております。特に役員以外の協議会会員は全体の賛助会のメンバーに会うことはほとんどないと思います。やはり広報誌を通じて皆さんを知ることが多いので、こうした広報誌に載せるような座談会は数年に1回位はやるべきではないかなと思っております。

賛助会

逆に我々の側も協議会会員の方々に会うというチャンスがないのですが、そういう中で地方会議というのは中々普段会えない会員病院の方々と会えるチャンスでもあります。今までは役員だけでしたが、去年から一般会員にも少し参加枠を広げていただき大変ありがたいと思っています。是非、協議会の中でこうしたチャンスを広げる議論を進めていただけると助かります。



元巨人軍角盈男氏による記念講演会



懇親会での鏡割り

■協議会の困りごとと賛助会にできることは何か

賛助会

最初、「物心両面での」というお話もありましたが、我々はもちろん物心両面の所もあるのですが、それ以上に何かできることがあるのではないかと考えています。

協議会 邊見会長

常任委員会で時々プレゼンテーションしていただいでいて、BCPや廃棄物の話など会員病院あるいは役員会でも気がつかないというか弱いところなんかも教えていただいたりしましたしね。やはり学会の懇親会などでもう少し色々できたら良いかなと思います。

協議会 原副会長

学会でランチョンセミナーをしたのですが、僕の東京の大会のときは中々引き受けてくれる会社が少なくて苦労しました。主催側としてランチョンセミナーは収入の面で非常に大きなウェイトを占めるので、色々な会社にある程度サポートしてくださいと賛助会の方々をお願いできれば良かったのかなと思います。

協議会 小熊副会長

学会の時に展示ブースで相談できる雰囲気のある環境があると、我々が気付かない現場で師長、薬剤部長、技師長だとか悩んでいる所があるはずなので、例えば「今の病院のここをこう直したい」とか思っている人はいるですよ。その部門の責任者として僕らにもまだ言えないけど、そういう人が専門家の所に行って自分としてはこうしたいとか、相談できれば良いかなと僕は思います。自分が病院建てる時は色々な学会へ行って何かないかなと。

協議会 邊見会長

賛助会の部門は、薬品と医療機器と設計・建築と医療設備とサービスなどですよ。これからはそれ以外の分野、AIとか、セキュリティとか、色々な新しい分野も医療業界に必要になってくるかもしれないですね。

協議会 小熊副会長

我々が今一番心配しているのは、技術的な問題ではなくて「人」ですよ。

賛助会

病院の中では人の問題も、例えばロボットが代わりにできるような分野というのは、これからもっと広がっていくのでしょうか。

協議会 邊見会長

受付などは確かになくなるかもしれないですね。

協議会 小熊副会長

今一番困っているのは看護助手さんがいないとか医師事務作業補助者を雇いたくても雇えないとか色々ありますよね。人がいなくて困っているという病院が日本中いっぱいあると思いますよね。それを色々お考えいただくのも一つのやり方かなと思いますし。

協議会 末永参与

人の問題でいいますと僕はあと20年先に夜勤をやる看護師さんがいるのかなと思います。だからそうした業務を代行できるようなAIみたいな事も伸びるかもしれませんね。

賛助会

本当に切々とお話を伺っていると、いつも邊見会長が賛助会にいらっしゃった時に講演でお話いただく「もう少子化の問題は今議論してもすぐには解決しない」という事を思い出します。どこの場所であっても本当に働く人は少なくなっているのでしょうね。

AIは今すごいスピードで進化しているといえますし、病院の大切な収益に関わるレセプト請求業務はかなりそういったところの搭載が検討されていて、レセプト点検する人材はその役割の変革を求められてきているんですよ。

協議会 小熊副会長

1日か2日外来にただ来てだけで疑い病名が三十何個ついたという話がありますが、聞いたならあれ機械(チェッカー)だということです。この検査をしたら、何とかの疑いというのを全部つけなければいけない。そうしたら、たった1日1回血を取っただけで、疑い病名が三十何個ですと。

協議会 中島副会長

20年以上前に大学病院は同じような状態でしたからね。病名が20から30あるのが普通だったから。

賛助会創立50周年記念座談会



賛助会

チェックシステムを使いこなせる人材育成も重要だと感じています。

協議会 小熊副会長

採血を命じる医者も医者ですよ。だから教育の仕方が違うんですよ。

協議会 中島副会長

働き方改革とか長時間労働とか言って、どんどん医者の質が低下していっていますよ。マニュアルどおりにはできませんけども、それを外れたら全然できない人が増えています。

■ 賛助会の思い

賛助会

我々賛助会としては、まず協議会会員病院の方々に広く我々を知ってもらいたいというところが一番の思いとしてあります。何か良い知恵といいますか、こんなのはどうだろうかというヒントがあると、我々も形にしてご提案できるかなと思います。どうでしょうか。

協議会 邊見会長

やはり私たちもちょっといろんな会の挨拶の中に「賛助会」ということを入れるべきかなと最近思い出して、地方会議なんかでは割と言っているんです。やはり何かかって思っている人が、地方会議で紹介してもね、そういう感じが周りの雰囲気ではしていますよね。

賛助会

どうしても営利を目的とする企業の集まりですからね。何かあってもすぐ仕事直結だろうみたいに見えると思いますが、仕事になるかならないか以前に、病院さんが困っている事の大概は賛助会会員で対応できます。その所はもうちょっと我々も強くPRをしていきたいと思ひますし、何かうまい具合に行かないかなと。

協議会 中川副会長

僕は賛助会の皆さんは私にとって仲間という感覚です。業者としてではなく、病院の職員と同じ意識を持って一緒に良いものを作ろうという仲間という意識です。

協議会 末永参与

たぶん、会員病院でどんな会社が賛助会の会員になっているかというのを知らない人が多いですね。部門が5つあって、その中にはこんな会社があるよという事をまず知らせることが必要じゃないでしょうか。例えば地方会議でそっと案内を置いておいて、何を受け取って留めていただけるかわからないけれども、賛助会の方からも案内をしてアピールしていくということが必要ではないでしょうか。

賛助会

地方会議そのものの運営は担当の病院さんでされていると思いますが、本部のほうからも「そういう要望があったのでどうだろうか」とちょっと言っただけだとありがたいので是非ご検討いただきたいです。

協議会 邊見会長

やはり広報が一番だと思うんですね。賛助会というのは、こういう会社があるというのをみんながわかるように、各職種にわかってもらえるような方策が一番と思いますね。

賛助会

学会に来る方の大半がお医者さんではなくて看護師さんとか他の職種の方が多くして、例えばそういう方々にとって最もホットな情報といいますか、聞きたいと思うようなテーマとはどんな事があるでしょうか。

協議会 末永参与

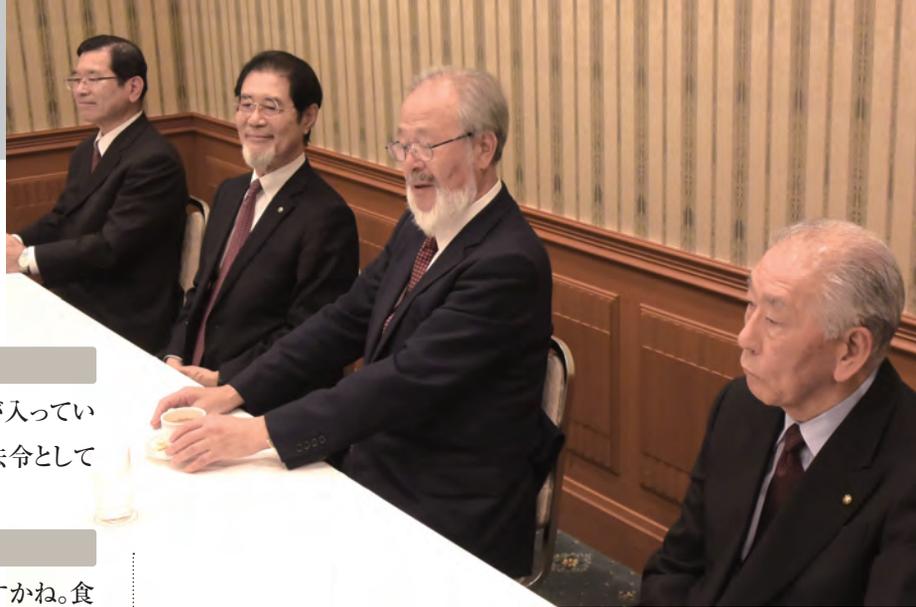
そうなるやはり医療安全、感染、チーム医療とか色々テーマとしてあると思います。

協議会 邊見会長

食品ですね。流動食とか、これから高齢者がものすごく多くなってきたら嚥下食とか刻み食とかの食品は薬品に次いで多くなると思います。特にこれから在宅医療をやろうとか地域包括ケアの時代になってきたらね。病院で治す医療から地域で支え治す医療ということになると、口から入れるものが中心になります。栄養というものを。

協議会 中島副会長

やはり災害の時にまずどうするか、みんな知らないんだから。本当に知らない。そういうものをもっとやったら良いと思うけどね。



協議会 邊見会長

今度4月から始まる第7次医療計画にはBCPが入っているんです。医療機関のBCPというのが初めて法令として入ったんですよね、計画の中に。

協議会 小熊副会長

食事というのはオートメーション化されないのですかね。食事を作ってくれる調理師さんがいないのです。だからレシピもそうだろうけど、いかにおいしいものを出すかとか、いかに作業を効率的にやるかとか。

協議会 原副会長

連携という意味では調剤薬局と病院の薬局の連携とか、そういうのがこれからすごく大事になってくるんですよ。

賛助会

病院内で服薬指導の点数が取れるじゃないですか。あれをまだまだ取られてない病院さんが非常に多いですね。やはりコストの面があるので、それをやるためには院外へ出して、調剤等を極力自動化して服薬指導に充てられる人員をいかに多くするか、それで点数を取っていく形でないと。そこは絶対プラスになる利益を生める部分だと思います。

協議会 原副会長

ある程度高度な急性期の病院になっていると、本当にいろんな病院とか薬局とよく連携していかないとこれから生きていけないのではと思います。そういう面で賛助会が何かアイデアを出してそれぞれの業種が寄り集まって病院と連携し、うまくシステムを組んでくれると助かるなと思うんだけど。

賛助会

それは良いヒントだと思います。賛助会の会員だからこそできる部分がある。他業種が同じ会員ということで横の連絡でチームをつくって「このチームでこういうことを提供できます、どうでしょう」ってセットでという事ですよ。そういう事が可能になってくると本当の意味で賛助するという事になりますよね。病院が何に困っているかということがわかれば我々がそれにどうやって応えるかという答えも出せるので、ニーズの掘り起こしが一番必要だと思います。今日は50周年記念の一環ということでちょっと堅い感じですが、ざっくばらんにお話ができる機会を数年に1度でも是非持ちたいと思いますので、今後要望があった時は是非お願いします。また広く会員病院に我々の存在を知っていただく為に、広報誌に年に数回載せられるような良いPRのできる記事作成などしたいと思いますので、賛助会が物心両面で協力させていただいている事を是非、色々な場面でお話いただけると助かります。お力添えよろしくお願いします。本日は有難うございました。



「成り立ち」

当全国自治体病院協議会・賛助会は全国自治体病院協議会が1962年4月に設立されたのを受け、自治体病院の発展に寄与することを目的とし、1968年7月17日に病院関連の有志企業によって結成されました。

現在は132社(2018年4月1日現在)が加入し協議会会員である自治体病院に対し医療にかかわる情報の提供、業務改善提案、学会、研究会、講習会、展示会等に対する協力等の事業を行っています。又、様々な行事を通し会員相互の向上を図るための活動も積極的に行っています。

主な活動

- 1 定時総会(年次活動報告、収支報告、監査報告)
- 2 協議会との意見交換会
- 3 研修会(講演会、病院見学会等)
- 4 新春賀詞交歓会
- 5 全国自治体病院学会や地方学会への参加
- 6 協議会との情報交換会(協議会に対し最新事例や業界最新動向・情報を発信)
- 7 寄付活動(協議会及び学会へ)

平成30年1月11日(木)

新春賀詞交歓会



開催場所：ホテルルポール麹町(東京都)
105名の賛助会会員と、全国自治体病院協議会、自治体病院共済会からも多数ご出席いただき、新たな年のスタートとしてふさわしく、大盛況の賀詞交歓会となりました。

平成30年2月8日(木)

賛助金贈呈式



開催場所：剛堂会館(東京都)
賛助会から公益社団法人全国自治体病院協議会へ自治体病院の発展を願って賛助金が贈呈されました。

平成30年2月22日(木)

平成29年度第2回研修会



会場：ホテルニューアカオ(静岡県)
賛助会から多数の出席者を始め、全国自治体病院協議会、(株)自治体病院共済会からも出席を頂きました。
研修会では全国自治体病院協議会 会長 赤穂市民病院名誉院長 邊見公雄先生をお迎えし、自治体病院の現状と今後についてご講演いただきました。
講演テーマ「生命輝かそう日本の医療人～周辺産業も含めて」



第2ブロック

会社名 **田島ルーフィング(株)**

会社HP <https://www.tajima.jp/>

田島ルーフィングは「和 革新 技術」を基本理念に掲げ、人々の幸福と社会の発展に貢献する会社、社員が生き生きとやりがいをもって働ける会社を目指します。



第2ブロック

会社名 **(株)中西製作所**

会社HP <http://www.nakanishi.co.jp/>

学校・病院・事業所・ファーストフードショップ・レストラン向けの業務用厨房機器の製造・販売を行っております。



第2ブロック

会社名 **ホシザキ東京(株)**

会社HP <http://www.hoshizaki-tokyo.co.jp/>

東京地区を統轄するホシザキグループの販売会社として、ホシザキ製品の販売・メンテナンスを通じて、快適な食環境づくりをご提案しています。



第2ブロック

会社名 **(株)LIXIL**

会社HP <http://www.lixil.co.jp/>

戸建て住宅・マンションから、病院・オフィス・商業施設などの非住宅向けまで、多岐にわたる建材・設備機器と幅広い住関連サービスを提供する住まいと暮らしの総合住生活企業です。



第5ブロック

会社名 **(株)MHA**

会社HP <http://mha-corp.com/>

株式会社MHAは「誰もが最適な医療を受けられる未来をひらく」を理念とし、「人材獲得」「組織構築」「経営」の3つの分野で医療機関へサービスを提供しております。特に医師招聘を得意としており、人材紹介会社を活用して採用力を強化する求人データベース「楽採(らくさい)」を中心に、医師採用支援をしております。





公益社団法人全国自治体病院協議会と共に50年

全国自治体病院協議会・賛助会

当賛助会は、公益社団法人全国自治体病院協議会への協力と自治体病院の発展に寄与することを目的としています。

第1 ブロック 医療機器部門 (26社)

- 協和医科器械(株)
- グリーンホスピタルサプライ(株)
- コヴィディエンジャパン(株)
- コニカミノルタジャパン(株)
- サカセ化学工業(株)
- サクラ精機(株)
- GEヘルスケア・ジャパン(株)
- シーメンスヘルスケア(株)
- (株)ジェイ・トラスト
- シスメックス(株)
- (株)島津製作所
- (株)タカゾノ
- (株)千代田テクノル
- テルモ(株)
- 日機装(株)
- ニプロ(株)
- 日本光電工業(株)
- (株)日立製作所
- (株)フィリップス・ジャパン
- フクダ電子(株)
- 富士電機(株)
- 富士フィルムメディカル(株)
- (株)ホギメディカル
- 美和医療電機(株)
- 村中医療器(株)
- (株)理舎

第2 ブロック 設備部門 (37社)

- アーバス技研工業(株)
- IHI運搬機械(株)
- (株)アイホー
- アイホン(株)
- アクアス(株)
- アズビル(株)
- (株)アルメックス
- (株)イトーキ
- (株)S&Sエンジニアリング
- (株)荏原製作所
- (株)岡村製作所
- (株)ケアコム
- コクヨ(株)
- コマニー(株)
- 斎久工業(株)
- (株)三晃空調
- 三建設備工業(株)
- シーホネンス(株)
- (株)スローライフジャパン
- (株)セントラルユニ
- ダイキン工業(株)
- ダイダ(株)
- 高砂熱学工業(株)
- 田島ルーフィング(株)
- 東西化学産業(株)
- (株)中西製作所
- (株)日本シューター
- 日本調理機(株)
- (株)パートナ
- パラマウントベッド(株)
- 不二サッシ(株)
- (株)フジマック
- フランスベッド(株)
- 文化シャッター(株)
- ホシザキ東京(株)
- (株)LIXIL
- YKKAP(株)

第3 ブロック 設計建築部門 (26社)

- (株)梓設計
- (株)石本建築事務所
- (株)伊藤喜三郎建築研究所
- (株)奥村組
- 鹿島建設(株)
- (株)教育施設研究所
- (株)楠山設計
- (株)久米設計
- (株)佐藤総合計画
- (株)昭和設計
- 積水ハウス(株)
- (株)大建設
- 大成建設(株)
- (株)竹中工務店
- (株)田中建築事務所
- (株)内藤建築事務所
- 西松建設(株)
- (株)日建設
- (株)藤木工務店
- (株)フジタ
- (株)松田平田設計
- 三井住友建設(株)
- (株)村田相互設計
- 明豊ファンリティワークス(株)
- (株)山田総合設計
- (株)横河建築設計事務所

第4 ブロック 製薬部門 (11社)

- エーザイ(株)
- 大塚製薬(株)
- 共創未来ファーマ(株)
- 参天製薬(株)
- 大鵬薬品工業(株)
- 武田薬品工業(株)
- 田辺三菱製薬(株)
- 東和薬品(株)
- 日本ケミファ(株)
- Meiji Seika ファルマ(株)
- 持田製薬(株)

第5 ブロック 資材サービス部門 (32社)

- (株)アートネイチャー
- (株)アイシーエム
- (株)アイセイ薬局
- (株)アベックス
- イオンディライト(株)
- (株)医用工学研究所
- SBSロジコム(株)
- (株)エヌジェーシー
- (株)エフエスユニマネジメント
- (株)MHA
- (株)エラン
- (株)LSIメディエンス
- (株)サン・システム
- (株)サンワ
- (株)シード・プランニング
- (株)ジェイワールドトラベル
- (株)じほう
- (株)ジャパンピバレッジ東京
- (株)ソラスト
- 大日商事(株)
- トータルメディカルコンサルタント(株)
- (株)ニチイ学館
- (株)日本経営戦略人事コンサルティング
- 日通旅行(株)
- 富士産業(株)
- ベストワールド(株)
- (株)丸井工文社
- ムゲンシステム(株)
- (株)メディネット
- 八尾医療PFI(株)
- (株)薬栄
- ワタキューセイモア(株)

総会員数132社 2018年4月1日現在

※各会員企業へのご連絡・ご相談は…

全国自治体病院協議会・賛助会
<http://www.jmha-p.net/>
QRコードで確認できます



平成30年度三役会社

- 会長会社 (株)伊藤喜三郎建築研究所
- 副会長会社(会計) (株)エヌジェーシー
- 副会長会社(総務) 美和医療電機(株)